

教科	科 目	単位数	学年・クラス
国語	論理国語	2	2年1組

1 使用教材

使用教科書	高等学校 標準 論理国語
出版社	第一学習社
副教材等	-
出版社	-

2 学習の目標

<p>1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>2 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>3 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

3 評価の規準・観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
学習態度	B	A	A	授業態度など
課題提出	B	A	A	指示した時期に提出
ノート提出	B	A	A	指示した時期に提出
定期考査	A	B	C	定期テスト、課題テスト

※表中のA・B・Cは評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	理解編 I 生活の中の表現 「情けは人の……」 表現編 レポートを書く 理解編 I 新しい発見 「新しい地球観」 「進化が導き出した答え」	言葉の用法に関する随筆を読み、筆者の主張を的確に読み取る力を身に付ける。 レポートの書き方の基礎を学ぶとともに、情報を収集し、レポートにまとめる技能を養う。 論理的な文章の読解方法を学び、筆者の主張を正確に読み取る力を身に付ける。 生物の進化における多様化について理解し、それを人間の生き方に照らして考えを深める。
2 学期	理解編 I 人間と文化 「ヒトはなぜヒトになったか」 「バラと通貨はどう違う？」 理解編 I 自己と社会 「鏡としての他者」	因果関係を解き明かしていく論理構成の手順を把握する力を身に付ける。 本文中で通貨と対比されているものの性質を把握し、筆者が述べる通貨の本質を理解する。 文章構造をもとに筆者の主張を正確に読み取る力を身に付ける。
3 学期	理解編 I 言葉と文化 「名所絵はがきの東西」 「数え方で磨く日本語」	筆者が主張する東西の自然観を把握し、自身の考えを深める。 具体例をもとに日本語のものの数え方の性質や文化的特徴を理解し、日本語感覚を磨く。